

オオタバコガ情報第4号（野菜類、花き類、ダイズ）

令和7年9月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

フェロモントラップの誘殺数が一部地域で多い！ キャベツではすでにほ場での被害が確認されています

本虫については、7月2日付けで令和7年度病虫害発生予察注意報第3号を、また9月2日付けでオオタバコガ情報第3号を発表しましたが、フェロモントラップにおける誘殺数が一部地点で多い状況のため、引き続き注意が必要です。

1 ほ場における発生状況

9月上旬のキャベツほ場（10地点20ほ場）で行った巡回調査の結果、本虫の被害株率は0.10%（平年0.15%、前年0.05%）で、過去10年間で3番目に高い状況です。

2 フェロモントラップにおける誘殺状況

県内10地点に設置したフェロモントラップのうち、4地点で直近1か月の総誘殺数が多い～やや多い状況です（図）。

- ・豊橋市（キャベツほ場）では421頭（平年220頭、前272頭）と過去10年間と比較して最も多い。
- ・稲沢市（キクほ場）では333頭（平年132頭、前年189頭）と過去10年間と比較して最も多い。
- ・安城市（ダイズほ場）では183頭（平年80頭、前年49頭）と過去10年間と比較して2番目に多い。
- ・長久手市（農総試内）では29頭（平年3頭、前年12頭）と過去10年間と比較して最も多い。

3 今後の予測

9月11日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれています。本虫の増殖に適する天候が予想されるため、発生量が多い状況が今後も続く可能性があります。

4 被害と防除対策

- （1）茎、花蕾、果実及びキャベツ等の結球部に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が著しく低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除しましょう。

参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

- （2）キクでは着蕾後に被害を受けると商品価値が著しく低下するため、着蕾以降は特に注意しましょう。

- （3）ダイズにおける本虫による被害は、ハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害せず白変葉にならないため、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難です。また、直接、莢を加害することから、被害が大きくなります。

- (4) 被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。
- (5) 施設栽培では、開口部に防虫ネットを張り成虫の侵入を防ぎましょう。

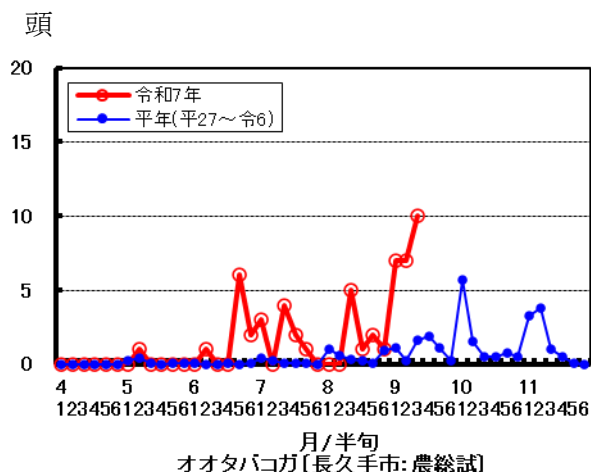
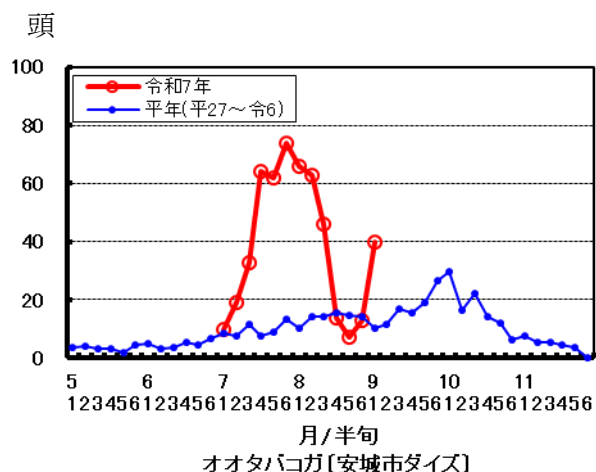
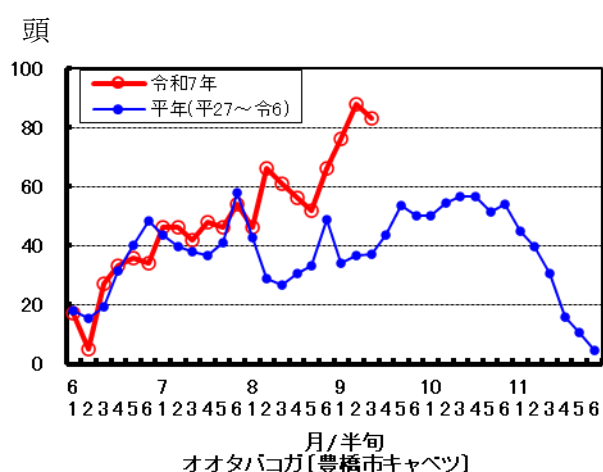
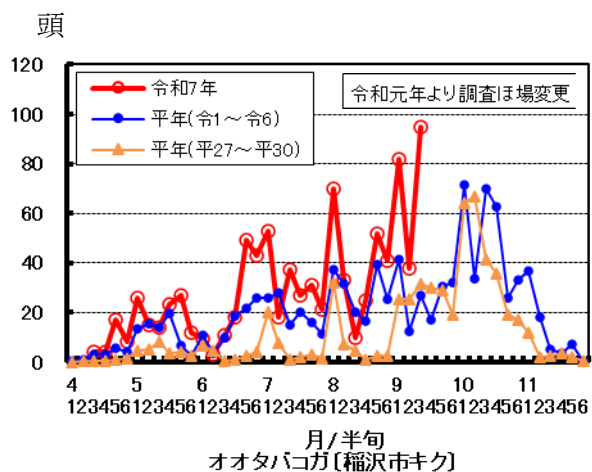


図 フェロモントラップにおける誘殺状況